



岡山県高P連会報

No. 80

contents

会長挨拶	1
地区会長挨拶	2
表彰式・総会・研修会	4
中四国高P連大会岡山大会	5～6
全国高P連大会宮城大会・県教育委員会より	7
生徒総合補償制度の御案内	8

発行 岡山県高等学校PTA連合会
 事務局 〒703-8258 岡山市中区西川原251-1
 おかやま西川原プラザ別館内
 TEL 086-230-1213 / FAX 086-230-1835
 URL http://www.okayama-koupren.jp
 E-mail info@okayama-koupren.jp

昨年引き続きまして岡山県高等学校PTA連合会会長を務めさせていただきます岡山操山高校PTA会長の菊地潤と申します。平素より皆様方にはPTA活動に對しまして多大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。またこの度、倉敷にて開催されました第65回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会開催に際しまして大会関係者の皆様、ご参加くださいましたPTAの皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございます。

さてNHKのテレビ番組「チョコちゃんに叱られる！」で以前このような問題が出題されていました。



時間
岡山県高等学校PTA連合会会長
岡山地区連合会会長
菊地潤

「一生の中で子どもと一緒に過ごせる時間は？」
 高校生の子どもを持つ私たちからすればまだまだ多くの時間が残されているようですが、実は幼稚園入園時点で約2割が消化され、小学校の卒業で約5割超ともう残り半分を切ったことになり、18歳で高校卒業を迎えて親元を離れたことになると、なんと約7割を過ぎたことになるようです。わが子と生涯で一緒に過ごす時間は、母親で約7年6ヶ月、父親で約3年4ヶ月とのことです。高校卒業までに残された貴重な時間を後悔することがないように、子どもに愛情を持って接したいと思っております。

先日、宮城県で開催されました第72回全国高等学校PTA連合会大会に参加させていただき、仙台育英学園高等学校を今年の夏の甲子園大会準優勝に導かれた、須江航野球部監督の記念講演『伝わる言葉〜失敗から学ぶ〜』を拝聴しました。

「人生は敗者復活戦」「人生の角度を1度変える」「肯定は否定を凌駕する」、心に残る言葉がたくさんありましたが、その中でも「叱る事に対して依存しない」という

言葉が胸に刺さりました。出来なかつたことに対して叱ることで満足しては指導者としていけない。「しない」と「出来ない」を見極め、出来ないなら叱らなくても良い、相手にネガティブな感情を植え付けた事へのケアが大事とおっしゃられていました。子育てにも共通する内容で大変興味深いお話でした。

岡山県教育委員会では、子どもたちの学びの原動力である夢を育む教育「夢育」を推進されています。夢や目標を見つけ、それを「学びの原動力（エンジン）」として主体的に学びながら挑戦し続けられるようにすることのようです。大人は子どもたちの伴走者として、側面から支援することが大切だと言われています。

子どもたちが夢への挑戦に向けて努力しやすい環境を作る為、学校と家庭、地域との懸け橋となれるよう、PTA活動に取り組んでいきたいと考えております。

子どもたちから「ボーっと生きてんじゃねえよ！」と叱られることのないよう、保護者として日々成長していくことが大事ではないでしょうか。

地区会長挨拶

温故知新

旭東地区連合会会長

岡本勝美



本年度、西大寺高等学校PTA会長、旭東地区PTA連合会会長を務めさせて頂きます岡本勝美と申します。皆様には、平素よりPTA活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

今もなお新型コロナウイルス感染症は社会に影響を及ぼしていますが5類に移行したことで子供たちの日常は劇的に変化しています。コロナ前と後とでは違うニューノーマルが出来上がり、子供たちは日々過ごしています。

コロナ前の年々引き継がれていた活動を知る人が少なくなりました。以前の活動内容の確認をして伝統を引き継ぐとともに見直しを行う必要があります。

新しいPTA活動を子供達の学生生活が充実したものになるよう協力し、PTAの存在意義として親も子供と成長でき入ってよかつ

たと思えるような活動をしていきます。

今後も学校・PTA・地域が一体となり子供たちの成長をサポートしていきたいと考えています。引き続きPTA活動、地域連携へのご理解とさらなるご支援をいただきますようお願いいたします。

柔軟な対応を

備南地区連合会会長

岡本啓資



本年度、玉野高等学校PTA会長、備南地区連合会会長を務めさせて頂いた皆さま岡本啓資と申します。平素より保護者の皆様方にはPTA活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスも今年5月に5類に移行し、学校生活や学校行事も元に戻りつつあります。しかしコロナ禍でライフスタイルも学校での授業の進め方などもICTの活用により大きく変化してきました。きっと今後も、時代の変化スピードは速く、いかにその流れに柔軟に対応出来るかが重要に

なつてくると思います。玉野高校では、生きる力を育む目的として、探究型学び・ICT機器の活用から①知識・技能の生成・習慣②思考力・判断力・表現力を育む活動③学びに向かう力・人間性の涵養の向上に向けた取り組みを行っております。このような新たな取り組みを、PTA活動を行うことで先生方と情報共有することができ、子供達と関われる残り限られた時間を有意義に過ごすことが出来ます。もちろん仕事も抱えながら大変ではありますが、先生方やPTA活動を共にする保護者の皆様と同じ方向を向いて、子供達が安全で楽しく学べる学校づくりに関わることが出来るのは貴重な経験であり、楽しくもあります。この1年間、微力ではございますが明るく前向きに努めて参りますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

最高の出会い

倉敷地区連合会会長

風早正明



本年度、倉敷工業高等学校PTA会長、倉敷地区連合会会長を務めております、風早正明と申します。日頃よりPTA活動にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

令和2年冬頃から新型コロナウイルス感染症の影響により、子供たちの学校生活も制約を強いられ、学校行事、部活動も十分な活動ができず、PTA活動もままならない時を過ごして参りました。

ようやく令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行になり、4年ぶりに制約のない以前の生活に戻りつつあります。その中、第65回中国・四国地区高P連大会岡山大会が令和5年7月14日に倉敷市民会館において、大勢の方を招き盛大に行うことができました。

令和4年度の役員の方を筆頭として2年間をかけて大会の準備をして参りました。岡山県高等学校PTA連合会菊地会長の旗の下、各学校の役員の方が一丸となりワンチームが出来上がったような気がします。

高校のPTAという短い期間に出会えた高P連事務局の方、学校関係者PTAの方々との一期一会に感謝します。

この出会いを後世につなげていきたいと思えます。

未来に向かって

備西地区連合会会長

山下 亜希子



今年度、鴨方高等学校PTA会長並びに備西地区連合会会長を務めさせていただきます山下亜希子と申します。保護者の皆様には日頃よりPTA活動にご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨今の世界情勢を見ますと、戦争・内乱に加えて、米大統領選挙不正投票や思いがけないトルコ地震、ハワイマウイ島大火災など、挙げればきりが無いほどに胸が痛い現状が目前に広がっています。

そのような中であって、私たち一人一人に与えられているのは、貴いかけがえのない生命です。誰も侵すことのできない尊い人権を持つています。一人一人が自分の良心の声に聞き従い、善と悪をはっきり分けて、自分の力で調べて探し出し、正しい方向へ向かっていくこと。まずは自分自身を大切に、家族や周囲の身近な人の存在を温かく迎え入れ、思いやり

の心を持って交わることの大切さを日々痛感いたします。未来を担う子どもたちが、当たり前前に感謝し、未来に希望を持って邁進できるよう微力ながら努めて参ります。

一歩踏み出すサポートを

備北地区連合会会長

土光 典子



本年度、総社南高等学校PTA会長、備北地区連合会会長を務めさせていただくことになりました土光典子と申します。平素より保護者の皆様にはPTA活動へのご理解とご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。

ここ数年、子供達はがまんを強いられてきました。しかし、そんな中でもリモート授業をはじめとするICTの活用は日常のものとなり授業の効率化が進み、子供達は新しい学びのカタチを得ることができました。そしてもう一つ、逆境の時に出来ないことではなく「出来ること」を探す目も育まれたのではないのでしょうか。

今年5月新型コロナウイルスは5類感染症に移行され、ようやく子供達はほぼ従来通りの高校生活を送れるようになりました。各々の学年で残された高校生活の時間に違いはありますが、一人一人が自身と向き合い未来に向けて、出来ることからさらに一歩踏み出すためのサポートを先生方や地域の方々と一緒にPTA活動を通して取り組んでいけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

柔軟な考えで

美作地区連合会会長

光岡 宏文



本年度、津山高等学校PTA会長、美作地区連合会会長を務めさせていただきます。光岡宏文と申します。平素より皆様にはPTA活動にご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

コロナ禍でPTA活動も制限をされた中、「先生や保護者同士の顔がわからず、コミュニケーションがとりにくい」といった問題や、

PTAをよく知っていた先生や保護者がいなくなつたことにより、活動への障害も出る場合があります。しかし、本年5月以降、様々な会が動き出し新型コロナウイルス流行前へ戻ろうとしています。会が動くにつれて、徐々にコミュニケーションが取れ、信頼関係も築いていけることを改めて実感しているところです。一度止まってしまった活動を再開することの難しさも感じるところではありますが、我々を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、子どもたちはその変化に柔軟に対応しています。私たちもやるべきことをしっかりと見極めながら、柔軟な考えで変化に対応し、PTAに取り組みたいければと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

楽しく有意義な活動を

岡山県私立中学高等学校保護者会連合会会長

赤瀬 健



岡山県高等学校PTA連合会の副会長を務めさせていただいて3年目となります岡山龍谷高等学校保護者会会長、岡山県私立中等高等学校保護者会連合会会長を務めさせていただいております赤瀬健と申します。皆様には、日頃より保護者会活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

私も私立中学高等学校保護者会連合会は、私学の充実と発展に寄与することを目的とし、現在27保護者会等が加盟し、陳情や研修、情報交換など様々な活動に取り組んでおります。

さて、ここ数年、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、学校行事や保護者会活動も様々な場面で変化を求められました。そして、今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、生徒や保護者の皆さんが待ちに待った学校行事が活発に実施されています。

「with感染症」時代においても、私たち保護者は、生徒の皆さんが楽しく有意義な学校生活を送り、夢が叶うことを願うことは変わりません。そのために、私どもの活動も生徒の皆さんと同じように楽しく有意義なものとし、生徒の皆さんと学校の懸け橋となれるよう取組を進めてまいりたいと存じます。引き続きご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

表彰式・総会・研修会

6月23日（木）ピュアリティまきびにおいて「令和5年度岡山県高等学校PTA連合会表彰式・総会・研修会」を開催いたしました。

コロナ禍でここ3年間、中止やオンライン開催となっていました。が、4年ぶりに県内高校の会長と校長が一堂に会して開催することができました。来賓に中村正芳学校教育推進監、國富耕治県総務部総務学事課長、滝澤幸隆県教育庁生涯学習課長をお迎えし、長年高校PTA活動に尽力されたPTA役員の方々へ表彰状を授与いたしました。来賓祝辞では、中村学校教育推進監から「皆様方の熱い思いが子どもたちの豊かな成長につながり支えになっていく。子どもたちの多様な体験や活動、自己決定や協働・挑戦の場作りによりPTAとして積極的に関わっていただきたい。」との要望がありました。

その後議事に入り、4年度事業報告・会計決算報告、5年度役員選出・事業計画・会計予算（案）について協議を行い、全ての議案が承認されました。



周防美智子氏

研修会では「高校生のメンタルヘルス（ストレスと心の健康）」と題し、岡山県立大学保健福祉学部現代福祉学科特任教授周防美智子氏に御講演いただきました。

自己肯定感が低いと言われていく日本の若者たちについて「自尊心を高めるには周囲の人の関わりが大事で、ものごとの結果より、自分の気持ちはどうなのかを確認し共感してあげることが大事である。」また十代の若者の10人に1人がリストカット経験者で、その内3%しか大人が気付いていない。といった衝撃的な状況を聞きました。そういったストレス反応への対応として「子どものSO Sを見逃さない、話をジャッジしない、アドバイスしない、まずは話を聞いてあげることが大事である。」そして、最後に「子どもを中心に学校と家庭が連携して子どもを守っていただきたい、そのためにもPTAの役割は大きい」とのお話がありました。

令和5年度役員

会長

菊地 潤（岡山操山）

副会長

赤瀬 健（私学保護者会・岡山龍谷）

藤岡 隆幸（岡山操山）

岡本 啓資（玉野）

風早 正明（倉敷工業）

山下 亜希子（鴨方）

光岡 宏文（津山）

監事

岡本 勝美（西大寺）

土光 典子（総社南）

毛利 哲也（津山商業）

県高等学校PTA連合会表彰の受賞者につきましては、当会のホームページに掲載していますのでご覧ください。

お知らせから「2023/06/26 令和5年度岡山県高等学校PTA連合会表彰式・総会・研修会」をご参照ください。

第65回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会岡山大会



集まれ
ばここ
ろはれば
れ晴れの
国」の
「集まる」
「話す」
の大切さ
再発見の
テーマの
もと、
第65回中

国・四国地区高等学校PTA連合
会大会岡山大会が7月14日（金）
倉敷市民会館で開催され、中国・
四国地区から会員及び関係者約
1,200名の参加がありました。
大会からその後の役員交流懇談
会までの総合司会は倉敷青陵高校
PTA会長の小川灯さんに務めて
いただきました。

開会式では菊地潤大会実行委員
長の歓迎挨拶
に続き、全国
高P連の山田
博章会長より
「リアルに顔
を合わせ対話
できることの大切さを実感し、共
に学び合いながら研さんを積みP



TA活動の参考にしていただきた
い」と挨拶がありました。続いて
県教育庁生涯学習課の竹林京子副
課長の挨拶、横田有次副知事、生
水哲男倉敷市副市長から御祝辞を
いただきました。

開会式の後「倉敷から始める家
族旅」と題して、作家・写真家・
建築家の稲葉なおとさんに講演し
ていただきました。講演では県下
の歴史的建造物を建築家の観点か
ら説明するとともに、渋沢栄一な
ど歴史的人物と建物との関わりを



交え興味深い内容を軽妙な語り口
で語られ、スクリーンいっぱい
映し出された美しい写真と相ま
つて、参加者一同話に引き込まれ
ました。

昼食時には1階のホワイエで講
師による著書のサイン販売会が行
われ、著書の購入と合わせてサイ
ンを求める人で長蛇の列ができた
り講師と一緒に写真に収まるなど
好評を博しました。また、高校

生による生産物
販売も商品が品
切れになるブー
スが相次ぐなど
大好評で大会の
盛り上げに一役
買ってくれました。



午後から倉敷市内3つの高校の
生徒による課題解決型学習（PB
L）の発表が行われました。まず、
倉敷古城池高校が「ワッショイ！
とーかーず」と題して、子ども食
堂での子どもたちへの読み聞かせ
や遊びの提供、公民館での講座の
企画や地元との団体と一緒に海底ゴ
ミの調査を行ったことなどの取組
を発表されました。

続いて倉敷商業高校は「倉商d
e キャッチ倉商PBL」と題して、
伝統工芸品に着目し倉敷美観地区
での繊維製品のPRやシーズンズ制
作への提案活動の取組や、倉敷美
観地区での観光客へのガイド実践
を行うことにより地域の歴史を学
ぶとともにコミュニケーション能
力の向上に役立ったことなどの紹
介がありました。



続いての倉敷翠松高校は「岡山
の伝統文化の継承と新たな文化の
構築」の演題で2つの発表を行い、
一つ目は、学校が日本で最初に茶
道を正課に取り入れ令和元年に茶
道教育50周年を迎えたことから、
お茶文化を深く学ぶためにお茶農
家に向き収穫作業を行うなど岡
山県初の抹茶製造に取り組んだ活
動発表を行い、続いて昨年ユネス
コ無形文化遺産に登録された白石

踊りが後継者の減少により存続の危機にあることを知り、自治体やマスコミに対して積極的にPR活動を行ったことなど継承活動の取組を紹介されました。

それぞれ高校生が学びの場を教室から地域に広げて社会との関わりの中で学びを深めていく取組で、地域の課題を題材にして生徒自身が主体的に問題を発見し解決しようと学習している姿に感心いたしました。

高P連の都築靖正副会長、岡山県



高P連の光岡宏文副会長を議長に三つの研究発表が行われました。まず、広島皆実高校の杠基PTA会長が「仲

間と共に『不撓不屈』でのりこえろ!!」〜コロナ禍学校とPTAの初挑戦への軌跡〜と題して発表されました。コロナ禍で学校行事が中止になる中、全校生徒約1,000人が参加する恒例の大運動会を無観客で開催し、PTAが保

護者に観てもらえるよう運動会の様子をネット配信することからDVD作成までの取り組みで関係者の熱意が伝わる発表でした。

次に、徳島県吉野川高校の瀬尾陽子PTA顧問が「地域に愛される学校ともに挑んだ10年」〜再編統合から10周年を迎えて〜と題して発表されました。生徒減により農業高校と商業高校が統合し吉野川高校ができる上での、新たなPTAの組織作りまでの経緯と10年間の活動発表でした。

最後は、倉敷南高校の田野美佐前PTA会長が「運営の充実と協働力体制により、学校の学びを支える」〜キャリアの学び・グローバルな学び〜と題して発表されました。コロナ禍においての学校行事への参加のあり方など、様々な業種からなる保護者の多面的視点からの意見を取り入れた予測不可能



な時代での学校を支えるPTAの活動発表でした。

それぞれに発表は参加者の興味、関心のある発表で、その後の質疑応答では活発な意見交換が行われ、有意義な研究協議となりました。



閉会行事では、菊地潤大会実行委員長の閉会挨拶に続き、次期開催県である高知県高P連の佐竹大樹会長が壇上に集まったPR隊のメンバーと一緒にになって来年の高知大会への参加を呼びかけました。最後に赤瀬健大会実行副委員長の閉会のこ

とばで大会の幕を閉じました。その後、倉敷アイビースクエアに会場を移した「役員交流懇談会」は令和元年度の鳥取大会以来4年ぶりの開催となりました。鍵本芳明県教育委員会教育長の御臨席をいただき、アトラクションでは地元倉敷が生んだ和太鼓団体「倉敷天領太鼓」の勇壮で迫力のある演奏もあり、集まった約100名の

参加者が久しぶりの交流機会が持てたことで大変な盛り上がりとなりました。大会を振り返って、例年であれば、中国四国地区で持ち回り開催の中国四国地区大会は岡山市で開催していましたが、岡山市民会館の老朽化による移転改築問題が浮上したため他の会場を探す必要が生じ、ジップアリーナや岡山シンフォニーホールなどに足を運ぶなど検討した結果、最終的に倉敷市民会館で開催することを決定しました。会場が事務局から離れていて連絡や準備に時間がかかることや今まで倉敷地区の高校に実行委員やスタッフをお願いすることがないなど不安なことがたくさんありましたが、倉敷市内12校のPTA会長さん・校長先生をはじめとするスタッフの方々の「大会を成功させよう」という熱い思いで関わっていただき盛大に開催することができました。厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。



第72回全国高等学校PTA連合会大会宮城大会

令和5年8月24日(木)・25日(金)、全国高P連大会宮城大会

が、カメイアリーナ仙台を主会場に、大会テーマ「豊かな森に生む虹の光」しなやかな強さで生き抜く力のもと開催され、全国からPTA関係者約6千人が参加し本県からは118名が参加しました。また、大会の様子はオンラインでも配信されました。初日は6つの会場に分かれての分科会となりました。



翌日の開会式では、宮城大会実行委員会の町田さやか実行委員長及び全国高P連の山田博章会長による開会挨拶に続き、来賓の篠和生文部科学副大臣並びに村井嘉浩宮城県知事及び郡和子仙台市長から祝辞がありました。閉会式典に続き文部科学大臣表彰・全国会長表彰の授与が行われ、本県から次の方々が受賞されました。誠にありがとうございます。

【文部科学大臣表彰】
優良PTA文部科学大臣表彰

金光学園中学・高等学校
やつなみ保護者会

PTA活動振興功労者表彰

橋野 耕一 氏

(岡山県高P連元副会長・津山)

浜崎 隆也 氏

(岡山県高P連元会長・岡山芳泉)

福岡 隆 氏

(岡山県高P連元会長・岡山大安寺)

福原 弘之 氏

(岡山県高P連元会長・岡山朝日)

【全国高P連会長表彰】

団体表彰

邑久高等学校PTA

総社高等学校PTA

個人表彰

永原 琢朗 氏

(岡山白陵高等学校育友会前会長)

安藤 浩 氏

(岡山県美作高等学校PTA前会長)

引き続きの記念講演では、仙台育英学園高等学校硬式野球部監督の須江航氏が、甲子園から戻られた翌日にもかかわらず元氣よく登壇され、「伝わる言葉」失敗から学ぶと題して自らの指導理念を熱く語られました。座右の銘は「賛同の多いことは時代遅れ」常に挑戦する姿を生徒に見せ

たい。また「人生は敗者復活戦」選手として芽が出ずコーチとしてチームを支えた学生時代を紹介され、「生徒が育つには情熱と粘り強さと素直さが必要、何事も肯定的に捉えること、柔軟性や意見が違ふことはおもしろいと思えることが必要」「挫折のない人生なんて存在しないし面白くない」「短所に対して丁寧に対処ができないと長所を飲み込んでしまう」

また「相手が聞きたいことしか伝わらないから聞くしかない、生徒が求めるものを知るしかない」「部活動の目的は、子どもたちが大人になり何か迷ったときに思考が返ってくる場所を作るため」「生徒を指導するには丁寧の説明し伝えることが大切、他者の話に耳を傾け自分自身を分析し自己肯定感を下げずに粘り強くこつこつと学び続け、最後は気合いと根性とガッツで」など、自らの人生経験からたくさんのお話を頂きました。最後に「子どもは人生に彩りと喜びを与えてくれる存在である」と、指導者として包容力のある温かな人柄を感じさせる講演でした。閉会式では、大会旗が来年度開催の板倉哲男茨城大会実行委員長に手渡され、来年の盛会を祈念いたしました。

ご存知ですか？ お子さんの大学等への進学を考えているご家庭へ

高等教育の修学支援新制度

国の「高等教育の修学支援新制度」は、「授業料・入学金の免除または減額」「給付型奨学金の支給」の2つの支援により、大学や専門学校などで安心して学んでいただくための制度です。進学前から申請することができます。詳しくは文部科学省のホームページをご覧ください。

(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

対象者の要件や対象となる大学等をご確認ください



ご加入の保護者の皆さまへ

重要

保険金請求、忘れていませんか？

今からでもご請求できます！！

岡山県高等学校PTA連合会
生徒総合補償制度

(学生・こども総合保険)

こんなときにお役に立ちます。

■さまざまなケガを補償

生徒の不慮の事故によるケガを24時間365日補償します。

- 通学途上(自転車、徒歩、バス、電車等)のケガ
- 体育授業中やクラブ活動中のケガ
- 学校外での日常生活(ご家庭内、スポーツやレジャー中等)でのケガ



■賠償責任

生徒およびご家族が過って他人にケガをさせたり、他人の財物を壊して、法律上の損害賠償責任を負った場合



■育英費用

生徒の扶養者が事故によるケガで死亡または重度後遺障害となり、生徒を扶養できなくなった場合にお支払いします。

※具体的な補償内容は、プランごとに異なります。詳しくはパンフレットをご覧ください。

※上記補償内容については、主な場合を記載しております。具体的な内容については、岡山県高等学校PTA連合会のホームページをご覧ください。また、下記お問い合わせ先までお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症による入通院の補償は、R4.4.23始期のSセットにご加入いただいている方のみとなります。

生活サポートサービス

ご相談無料

日常生活に役立つさまざまなサービスを電話にてご利用いただけます。学生・こども総合保険など*にご加入のお客さまとその同居のご家族の方専用サービスです。*詳しくは、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

健康・医療

- 健康・医療相談
- 医療機関総合情報提供 等

介護

- 介護に関する情報提供
- 介護に関する悩み相談 等

暮らしの相談

- 暮らしのトラブル相談
- 暮らしの税務相談 等

情報提供・紹介サービス

- 子育て相談(12才以下)
- 暮らしの情報提供 等

健康・介護ステーション

インターネットにて健康・医療、介護に関する情報をご提供します。
URL : https://www.ms-ins.com/kenko_kaigo/

*サービス受付のご利用時間・電話番号(通話料無料)は、ご加入後にお届けした加入者証の案内などをご覧ください。*お使いの電話回線により、ご利用できない場合があります。また、ご利用は日本国内からに限ります。*本サービスは、引受保険会社の提携サービス会社にてご提供します。海外に関するご相談など、ご相談内容によってはご対応できない場合があります。*本サービスは予告なく変更・中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お申込み・お問い合わせは

引受幹事保険会社 / 代理店・扱者

三井住友海上火災保険株式会社 岡山支店 岡山第二支社
〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL 086-225-0583
代理店・扱者：三井住友海上エイジェンシー・サービス株式会社 岡山支店
〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL 086-221-2576

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
Chubb損害保険株式会社

事故の際のご連絡先

24時間365日事故受付サービス「三井住友海上事故受付センター」

0120-258-189 (無料)

事故は いち早く

ご連絡の際は、「岡山県高等学校PTA連合会の学生・こども総合保険に加入しています」という旨をお申し出ください。

保険金の請求に関するお問い合わせ 三井住友海上火災保険株式会社 関西傷害疾病第二保険金お支払センター
TEL 06-6229-2628 月曜日から金曜日(祝日除く) 9:00~17:00